

コース名		科目名					対象学年
良医の礎		医学研究への扉 (EBM・データサイエンスシリーズ)					2
開講学期		科目責任者			副責任者		
1・2 学期		岡本 安雄			山内 明, 栗林 太		
目的							
学内・学外の研究施設を問わず、研究活動に従事している医師・研究者から早期に研究指導を受けることにより、研究の重要性・醍醐味を知ること、研究的探究心（リサーチマインド）を育むことを目的とする。							
授業到達目標							
本科目は、コンピテンス I（プロフェッショナルリズム）、コンピテンス II（コミュニケーション能力）、コンピテンス III（医学と関連領域の知識）、コンピテンス VI（研究マインドの育成）へとつながる科目である。							
1) 何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。							
2) 最先端の研究に刺激を受ける。							
3) 医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。							
4) 研究データを適切に記録、管理できる。							
5) 発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	4/ 5	金	6	講義	岡本安	薬理	ガイダンス（オリエンテーション）
2	5/10	金	3	講義	大友	分子遺伝医学	人を対象とする医学研究に関する倫理
3	6/27	木	5	講義	岡本安	薬理	ガイダンス（配属教室決定後）
4	10/31	木	1	講義	岡本安	薬理	研究データの取扱いと不正防止
5	10/31	木	2	講義	奥村	非常勤／附属病院	医学研究と個人情報
6	10/31	木	3	講義	岡本安	薬理	ガイダンス（演習前）
7～150	11/11 ～ 12/12	月～ 金	1～6	演習			11月11日～12月12日まで学内・学外の配属教室で演習
151～ 153	12/13	金	1～3	演習			「学生学術発表会」（口頭発表）
評価方法							
[その他]100%（抄録・演習報告書提出、当日発表の全て揃うのが評価の前提。）							
[評価方法]その他							
[備考]講義・ガイダンスおよび期間最終日（12月13日（金）1～3時限）の「学生学術発表会」（口頭発表）の出席は必須（講義を欠席した場合は、録画したその講義動画の視聴とレポート提出は必須）。演習は学内・学外の配属教室で行う。発表に先立ち、抄録を提出し、発表スライドを作成し、自ら発表することが評定の前提となる。当日の発表内容の審査、及び指導教員の評定をもとに、総合的に評価する。発表、審査、評定の詳細は、ガイダンスおよび配布資料で説明する。							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
演習期間中の演習報告書をフィードバックする。							
教科書							
科目全体の教科書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。							
参考書							
科目全体の参考書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。							
準備学習（予習・復習等）							
指導教員の指示に従う。							
講義についての注意事項							
指導教員の指示に従う。演習の総コマ数は144回。期間中の7限はSLとする。							
昨年度からの変更点・改善項目							
（特になし）							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について							
研究マインドの醸成、進んで新分野を開拓する探求心、及び自己研鑽を継続できる医師としての必須事項を涵養する。この科目は、主として1・2年次の「医科学の基礎」、「人体の構造と機能 I・II」、「個体の構成と機能」、「個体の反応・病因と病態」の知識と理解のもとに授業・演習が行われ、主として3年次の「データ分析に基づく研究講義」の学修につながります。							
ナンバリング							
BAMR208							